

## 疫学研究のお知らせ

当科では下記の研究を行っております。

### 研究課題名：

非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療における予後因子に関する研究

### 研究の目的：

早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療（SBRT: stereotactic body radiation therapy）は、1990年代後半に開始され高い局所制御率を示しており、重要な治療法となっています。

当院では1998年より肺腫瘍に対するSBRTを開始し、これまで15年以上の実績があり、腫瘍径（サイズ）と性別が重要な予後因子（治療成績に影響する因子）であることが既に当院の研究で明らかになっています。

しかし、それだけでは説明が難しい患者さんを経験することが増えてきました。そこで、この研究では腫瘍径と性別以外の予後因子（ないしは治療予測因子）がないかを検討し、新しい治療法の開発、治療成績の改善に役立てることを目指しています。

### 研究の方法：

1998年から2010年までに原発性非小細胞肺癌に対して京都大学医学部附属病院放射線治療科でSBRTを行った患者さんの診療録（カルテ）と治療計画データを解析します。本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院 医の倫理委員会の承認を得て実施されています。

### 研究成果発表：

学会や学会誌での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

### 問い合わせ先：

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

研究事務局

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

松尾 幸憲

電話：075-751-3762、FAX：075-771-9749